

地球通信

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836
<http://www.kotoba.ac.jp>

読書の秋-Multilingual 末續Library 便り⑦



図書室担当 西貝理恵子

図書室を秋の展示に模様替えしていると、「先生、『読書の秋』到来ですね。この秋に読みたい一冊は何ですか?」と、袴田先生。「秋の一冊ですか?キーワードは秋ですね?すぐには思い浮かびませんが…」と言いつつ、その答えを探すために、春からの読書ノートをめくってみた。



- 4月「パリのすてきなおじさん」(金井真紀他/柏書房)
- 5月「街とその不確かな壁」(村上春樹/新潮社)
- 6月「生きづらさについて考える」(内田樹/毎日文庫)
- 7月「老害の人」(内館牧子/講談社)
- 8月「君たちはどう生きるか」(吉野源三郎/マガジンハウス *映画/宮崎駿)
- 9月「フリーター家を買う」(有川浩/幻冬舎)
- 10月「古本食堂」(原田ひ香/角川) etc

作品のテーマはさておき、ここから「継承」というキーワードが浮かんだ。「必要な本は必要な時に向こうからやってくる」とどこかで読んだが、自宅の書棚で「江戸の教育力」(大石学/東京学芸大出版会)という本が目にとまった。江戸時代(1603~1867)は土農工商に表象される封建社会のイメージが強いが、歴史学的にみると、国家としてのまとまりが強化され、平和のもとで、社会の「文明化」が大いに進んだ時代だという。明治以降に展開される「西洋型近代化」の前提となる「日本型近代化」の過程を、江戸時代前期・中期・後期にわけて考察した上で、日本の近代化は明治維新(1868)に始まるのではなく、江戸という太平の世に培われた庶民の教養・文化が土台となって、明治の文明開化を後押ししたのだという。さらにその萌芽はすでに戦国時代にあったとも述べている。来日宣教師達が当時の日本社会の文明度の高さを評価しているのが興味深い。「日本人は読み書きするものが多いので、布教に有利である」(F・ザビエル)、「当時の日本の育児と教育が強制や威嚇でなく、辛抱と優しさをもって行われ、プライドを持たせることによって大きな効果を上げていた」(F・ガロン/日本大王国誌)と記している。当時の宣教師が接することのできた日本社会には限界があり、言葉通りに受け取ることはできないものの、太平の世に文字社会が発達し、各藩が子弟や庶民の教育に目覚め、藩校や寺子屋を開き、庶民レベルで文字教育を推進したことの意義は大きく、教育や環境が民度を育てるのだという想いを新たにしたい。

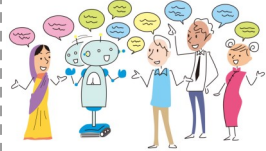
ある新生は「本の匂いが好きなので、図書室があってうれしい。」と通ってくれる。情報収集には、デジタルは速くて便利だが、紙をめくる、本の匂いを楽しむ、物語は五感で味わいたいものだ。「人間は物語を生きている」(柳田邦男)のであれば、自分も時代の閉塞感の中で自然と物語を欲していたのかもしれないと、読書ノートを振り返りつつ思った。この秋の一冊、「失われたものたちの本」(ジョン・コナリー/創元推理文庫)を読んでみよう。

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
国際ことば学院外国語専門学校



「韓国留学までの
ストーリー1」
2021年度卒業生 片井優芽

前回の地球通信で小学生の時に韓国留学したいと思ったと話しましたが、その後は少し留学に対する気持ちが薄れていました。留学をしたい理由の1つが通訳を仕事にするためでしたが、通訳を仕事にして生きていけるのかが気がかりでした。特にその時はフリーランスになりたい気持ちが強かったため将来、経済的な安定が得られないかもしれないという不安から安定した職業を選ぶべきではないかと思いました。なので当時は親の仕事の影響や自分の経験した体験などから精神科医やソーシャルスクールワーカーなど心に関した職業に就こうと考えていました。しかし大学受験を準備している段階で本当にこれで良いのかという気持ちが脳裏に浮かびました。その後1か月ほど考えた結果、後悔しないように自分が本当にやりたい事をやろうという結論に達し、国際ことば学院に受験することを決めました。



つづく

次号は「留学までのストーリー2」

お楽しみに!!



青空の下で
ピクニックランチ会



放課後のアクティビティ企画!!今回は森下公園でピクニックしました!10月に入り、青空の下で過ごすには気持ちのいい季節となり、美味しいお弁当がさらに10倍増しくらい美味しく感じました。その後は「しりとりゲーム」で大盛り上がり!爆笑な答えも飛び出し、楽しいひと時を過ごしました。(山田)

NEW静岡駅地下広告!

駅地下広告が新しくなりました。機会がありましたらぜひ探してみてください!!



JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
国際ことば学院日本語学校

課外授業で遠足へ♪

8月4日「博物館で、わが町の歴史を学ぶ」コースと、バスで「ちょっと遠出して、静岡の未来を考える」コースに分かれ、遠足に行きました。

博物館コースでは、歴史博物館と駿府城を見学しました。学芸員の方、観光ガイドの方の説明に対して鋭い質問をする学生もあり、教職員も感心しました。これを機に、静岡や日本の歴史に興味を持つ学生が増えたら、とても嬉しいです。



バスコースでは、浜岡原子力館の見学、KADODE OOIGAWAで昼食、新金谷駅でSLの見学をしました。学生達にとって、あまり馴染みのない原子力発電。海沿いの高い壁を見て、学生達はどんなことを考えていたのでしょうか。KADODE OOIGAWAでは、少し貴重な学生達の食事風景が見られました。おでんやラーメンを「美味しいです!」と笑顔で頬張る学生達の姿が印象的でした。



どちらのコースも炎天下の中でしたが、真剣に耳を傾ける様子や、普段とはまた違う学生達の弾ける笑顔が沢山見られ、教職員にとっても思い出に残る一日となりました。

森下学区大運動会に参加しました!

9月24日に今年度は学生7名が八幡三丁目のメンバーとして森下学区大運動会に参加させていただきました。母国では運動会のようなイベントはなかったり、あるけど少し違うなど、日本の運動会が体験でき学生も非常に喜んでいました。リレーと長縄に出場し、長縄はやったことがない学生もあり、初めての挑戦でしたが終わった後には「長縄は、とても楽しいですね!」とキラキラした顔で話していました。地域の方々とも交流ができ、良い思い出になったと思います。森下学区の皆様、八幡三丁目の皆様、温かく迎え入れていただき今年もありがとうございました。



クラスも国も違い、今まで交流のなかった学生同士でしたが仲良く頑張っていました!





MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

富士山日本語学校

こぎ さとまつ
古木の里祭り



9月24日、富士駅南まちづくりセンターにて、4年ぶりに小木の里祭りが開催されました。

ステージ発表の部は、かなりあ音楽堂さんによる「華やかな時代絵巻・信長行列」を中心に進行されました。この信長行列では、信長や家臣、町人に扮した役者さんや地域の方と一緒に9名の学生が美しい着物をまとって会場内を練り歩きました。また、「信長のために海外から来た客人」という紹介のもと、ミャンマーの学生が水祭りの歌と踊りを笑顔で披露しました。

また、当日はセンター内に茶道の体験コーナーもあり、8名の学生がお抹茶を頂きました。横井様をはじめ皆様に教えていただきながら、お点前の丁寧な作法を静かに見つめ、お茶とお菓子を味わっていました。初めての抹茶や和菓子に、「ちょっと苦いけど、おいしい!」とうれしそうでした。皆様、ありがとうございました。



YAMATO MAHORоба JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
大和まほろば日本語学校

インフルエンザ予防接種

10月16日と20日の二日に分けて、インフルエンザの予防接種を受けてきました。今年には新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザも夏頃からはやり始めているということで、例年よりも少し早めに受けてもらいました。専門学校の受験などが控えている人も多いので、ぜひ体調管理には気を付けてほしいと思います。



秋の大神祭

ネパール人学生4名が10月23日に桜井市の大神神社で開催された「秋の大神祭」に参加してきました。

飛び入りだったので、法被を着て、お神輿まで担がせていただいたとき、日本ならではの貴重な体験ができたようです。学生たちも、肩がちょっと痛くなったけど、とても楽しかったと申ししておりました。



進路状況報告 🍡

在校生進路状況(10月25日現在)

- ・専門学校 : 合格者15名、受験予定5名
 - ・就職希望者 : 7名
 - ・帰国予定者 : 1名
- …計28名

例年より早く動き始めた専門学校の受験シーズンがそろそろ終盤を迎えつつあります。まだ進学先が決まっていない学生も数名いるために、予断を許さない状況が続いていますので、引き続き、全力で支援をしていきたいと思ひます。

また、ここ数年増えてきた、特定技能ビザによる就職希望の学生たちのフォローアップもきめ細やかに行き、一人一人が希望の進路に進めるよう努めてまいります。

学校法人 国際ことば学院 お知らせ

行事予定

<国際ことば学院日本語学校>

- ・2023年11月26日(日) 静岡市国際交流協会主催「わいわいワールドフェア」
本校のスリランカ人学生が静岡英和大生と共同で参加予定
- ・2023年12月8日(金) 留学生との意見交換会2回目(定員4名) テーマ「外国人留学生に伝えたい日本の話」
- ・2023年12月14日(木) 国際ことば学院日本語学校 運動会(会場:このはなアリーナ)
- ・2023年12月20日(水) 留学生との意見交換会3回目(定員4名) テーマ「私が大事にしたいこと」

<国際ことば学院外国語専門学校>

2024年度入学試験が始まりました。次回は第二回入学試験11/18(土) →詳しくはHPへ



<専門学校 スピーチ大会参加報告>

韓国語スピーチ大会



10月7日(土)第21回神奈川韓国語スピーチ大会が行われました。スピーチ部門、プレゼンテーション部門があり、本校からはそれぞれに1名ずつ出場しました。残念ながら、大賞には届きませんでしたが、城田朱鶴さんが金賞を、森井愛音さんが銀賞を受賞しました。昨年金賞を受賞した森井愛音さんは最高賞である大賞を目指しての挑戦でしたが、その願いは届かずでした。しかし、内容もプレゼンの仕上がりも昨年よりずっとレベルが上がっていました。残念ではありましたが、優秀な人は他にもたくさんいることを

学んだのではないのでしょうか。今、彼女はすでに留学に目を向けて準備を始めています。例年通り今年も熱心にご指導くださった鄭淑然先生に厚く感謝いたします。(小林蓮佳)

中国語スピーチ大会

10月22日(日)に行われた中国語スピーチコンテストで、朗読部門の大学生・大学院生部に、松本守生さん、杉山美翔さん、ヴェイ トゥ タオさん、チャン ティ キエウ ガさんの四名が出場しました。参加者27名中、ベトナム人のチャン ティ キエウ ガさんが抜群の表現力で一等賞に輝き、その他三人は三等賞を受賞しました。今回の受賞を契機にますます中国語の学習に磨きをかけていってほしいと願っています。それにしても、四声の中国語に対し六声とも八声とも言われているベトナム語を操るベトナム人は中国語習得が上手いと感心しました。(小林蓮佳)



英語スピーチコンテスト

10月15日(日)三島市生涯学習センターにおいて、三島市国際交流協会主催「英語スピーチコンテスト」が開催されました。本校専門学校からは、ビジネスコース1年生のグディチェンコ・アナスタジアさんが参加。“The Culture of Keeping Quiet”というタイトルでスピーチし、一般の部で優勝しました。学生のかたわら自身も英語を教えている経験から、授業中に無反応な日本人学習者に疑問を呈し、その文化的背景に迫る内容でした。(小林典子)



<編集後記> 連日の猛暑日から一転、急激な秋の訪れに身体が追い付かないのは私だけでしょうか…。皆さまも、気温の変化に体調を崩されないよう十分お気をつけください。編集長：山田 / 編集：池ヶ谷、青山、佐藤

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

- | | |
|---|---|
| <p>COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
国際ことば学院外国語専門学校</p> | <p>〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091
WEBSITE:http://sp.kotoba.ac.jp E-MAIL:ask@kotoba.ac.jp</p> |
| <p>JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
国際ことば学院日本語学校</p> | <p>〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338
WEBSITE:http://jp.kotoba.ac.jp E-MAIL:info@kotoba.ac.jp</p> |
| <p>MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校</p> | <p>〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558
WEBSITE:http://fujisan.kotoba.ac.jp E-MAIL:fujisan@kotoba.ac.jp</p> |
| <p>YAMATO MAHOROKA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
大和まほろば日本語学校</p> | <p>〒633-0053 奈良県桜井市谷10-1 TEL:0744-44-2424 / FAX:0744-47-2430
WEBSITE:http://yamato.kotoba.ac.jp E-MAIL:yamato@kotoba.ac.jp</p> |